

榎ノ木

第四号

平成24年3月11日発行
 青壮年部・女性部・広報部
 題字：大内翠峰

発足三年目に向けて

清浄山 禪興寺 住職 梅澤徹玄

七ツ森山麓もようやく春めいて参りました。皆様も種まき、土起しや年度末・始めの諸事に何かとご多用のことと拝察致します。

日頃は菩提寺の護寺発展にご協力賜り、心より厚く御礼申し上げます。お陰様をもちまして当山花園会青壮年部・女性部も順調に発展し、まもなく発足3年目を迎える総会の準備に入っております。

昨年3月11日発生の東日本大震災からはや一年。皆様ご自身、ご家族ご親戚始め、多くの縁者の方々他、数多の人々が様々な辛酸を嘗めたことでしょうか。私達はこの一年、人間の計らいを越えた大いなる自然の脅威と、筆舌に尽く

し難い様々な人生苦を正面から受け止め、自らの生きる力を振り絞り、互いに励まし

助け合って参りました。

その貴重な経験は、生涯忘れ得ぬ私達世代の心の刻印として、子孫に大切に伝えてゆかねばならないと存じます。人の生死と命の重み、人生の悲哀、人間の思いやりや慈しみ、助け合い、感謝等、震災以前には正面きって論じられなかった人生の根本的な問題に、ようやく人々の関心が向いて参りました。「祈る」とこの意味を深く問い直す一年でした。

災い転じて福となさねばなりません。禪興寺が仏教・禅の教えを深く学び、伝え語り合う集いの場として、又、人生の羅針盤として心の拠り所となりますよう、その充実発展に皆様と励んで参りたいと思ひます。今後共何卒ご協力お願い申し上げます。

合掌

悟りの日

成道会と大般若祈祷

12月3日に成道会と大般若祈祷

が開催されました。

成道会とは、約二千五百年前に、お釈迦様が悟りを開いた事を記念して、本来12月8日に行う法要です。

この日、合わせ大般若祈祷も行われ、和尚様方が「降伏一切大魔最勝成就！」と大声で唱え、勇壮な大般若經典の祈祷を行いました。



和尚様方による大般若祈祷は大迫力！



お念仏と般若心経の、初コラボレーション！

今年の大般若祈祷では、岐阜県下呂温泉の温泉寺様より寄贈された大数珠を使って般若心経とお念仏のコラボレーションが実現しました。

麓下地区若生一郎さんの鐘の音色に合わせ、総代と青壮年部・女性部員、参加された檀信徒とで念仏を、隣では和尚様方が般若心経を唱えながら周回する「行道」が複雑に絡み合い本堂一杯に響き渡りました。

参加者は、最初は戸惑っていましたが、すぐに慣れた様子で数珠を繰り、思い思いの祈念をしました。



榎ノ木3号の写真で紹介した大友さんとの出会いの瞬間！
これが御縁となり今回の講演と大数珠の寄贈につながりました



記念講演

「大震災復興支援感謝
日本一周自転車の旅を終えて」

昨年12月3日、成道会と大般若
祈禱に先立ち、震災復興記念講演が
行われました。講師は、自転車で日
本一周した大友忠さんです。

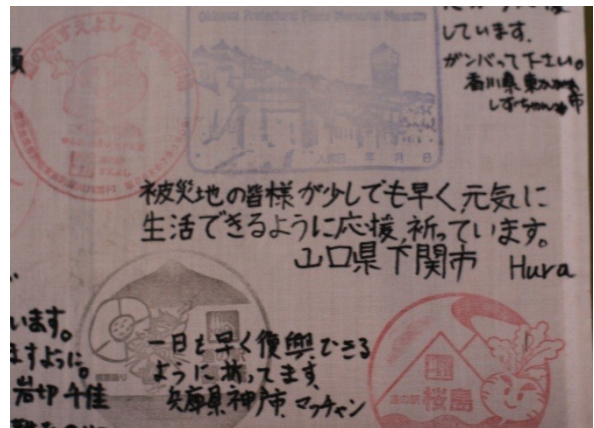
大友さんは全国から寄せられた
復興支援・ボランティアに宮城県民
として、全国に感謝の意を伝えたい
と昨年5月9日に仙台市の自宅か
ら自転車で行った日本一周感謝の旅をス
タートしました。

しかし、スタートした初日の夜、
登米市津山の道の駅もくもくラン
ドで大雨に当たり、翌朝テントを干
して乾かしている時、偶然気仙沼市
の地福寺へ災害復旧支援に向かう
梅澤住職と石垣会長、岐阜の和尚様
方と出会いました。

これは地獄に仏と喜び、この旅最
初の寄せ書きを一行に頼み、大いに
元氣付けられたと話されました。
旅は四か月ほどで日本一周をし
て無事、宮城に帰ってきました。そ
の間には大変な苦労や、温かい人と
の絆があったとのことでした。



大友さんはこれを胸に付けて日本を巡りました



下関市や神戸市からの激励のメッセージ

仏事（葬儀・法事・火葬・通夜・行事）の際は、忘れずに輪袈裟と数珠を身に着けましょう。



大友さんに寄せられた全国からのメッセージと思い出の写真の数々

下段右から2枚目の写真に住職と石垣会長、岐阜の和尚様方が写っています。

住民が安心・安全に暮らすための取組み

黒川消防署勤務 八志田地区 千葉一美

大規模な災害が発生したときに被害の拡大を防ぐためには、国や都道府県、市町村の対応（公助）だけでは限界があります。すぐに実効性のある対策をとることが難しい場合も考えられるので、自分の身を自分の努力によって守る（自助）ことと、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まって、お互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組むこと（共助）が必要です。

そして「自助」「共助」「公助」が一体的につながることでより被害の軽減を図ることができると言えます。

特に地域で協力し合う体制や活動（共助）は、自主防災組織が担うべき活動の中核で重要です。

自分の身を自分の
努力によって守る。

自助

共助

地域や近隣の人が
お互いに協力し合う

地域の防災力

災害時の被害を抑える。

公助

国や都道府県等の行政、
消防機関による救助・援助等

寄稿

成道会等に参加して

禪興寺責任役員 高橋 寛

本年最後の行事であります成道会・大般若祈禱法要が12月3日、雨降りの中、多くの方々にご参加をいただき、禪興寺本堂で盛大に行われました。

法要前の講演では、仙台市在住で自転車旅行家・登山家の大友忠様より講話を頂きました。今般の震災で復興に多くの支援を頂いた感謝の意を全国へ伝えたいとの思いから、約五か月間をかけて北海道から沖縄まで自転車旅行を行いました。

各地で応援の寄せ書きも集まり、「被災者にとって、生かされた命を生かす手がかりになれば」とペダルを踏み続けたことなど、素晴らしい講演をいただきました。

引き続き十三名の和尚様による震災物故者慰霊法要、成道会、大般若祈禱「降伏一切大魔最勝成就」と大きな声で唱えながら大般若経本を、玉すだれの様に左右に次々に転読する勇壮な仏事でした。

成道会、大般若祈禱法要は禪興寺の年間行事です。

今回参加できなかった方々は、ぜひ来年こそご参加くださいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、実施に当たり早朝からご協力いただきました総代および青壮年部・女性部の皆様には心より厚く御礼申し上げ、終わりといたします。

女性部活動

女性部の行事に初めて参加して

反町中 佐藤 美和子

去る11月12日松島円通院での数珠作り体験とライトアップ見学、そして瑞巖寺の参拝に楽しく参加させていただきました。

円通院での数珠作りでは、たくさん種類の中央に穴があけてある天然石から、自分の好きな石を選んでひもを通すという作業内容でした。

終了後は、その選んだ石が金運や愛情運そして健康運などいろいろと意味があると副住職様から説明を受け、世界でたったひとつの自分

だけの数珠を身に着けることのできる幸せを感じました。

数珠が完成したころには、ご住職もいらして記念写真を撮って頂いたり、瑞巖寺の庫裡や大書院や宝物館にもご同行して頂いたので、私達は安心して参拝することができました。

ご尽力いただきましたご住職、奥様に感謝を申し上げます。もちろん、事前に下見をしてくださった役員の皆様にも心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。



編集後記

平成23年3月11日甚大な被害をもたらした東日本大震災、震災を風化させず後世に語り継がなければならぬと思います。

第四号発行日を3月11日とし、第三号震災特集の追記集として昨年12月3日に記念講演して頂いた大友忠さんの「つないだ絆日本一周の旅」を紹介することにしました。

さらに、2011年を表す漢字は「絆」。本部会も発足二周年を過ぎ、ひとつひとつの活動を通して会員相互の強い絆に発展することを願ってやみません。

広報部

- 部長 鷗橋初雄
- 副部長 佐藤 彰
- 部員 小川弘吉 高橋一悦
- 浅井明美 浅野澄江
- 相澤敏晴

発行

清浄山禪興寺青壮年部・女性部 広報部
〒九八一・三六二五
宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三